

（財）西栗倉村森の村振興公社 **平成十七年度決算について**

五月二十九日、森の村振興公社理事会において平成十七年度の事業報告と収支決算が承認されましたので報告いたします。

平成十七年度には公社自主事業として次ぎのとおり事業を実施しました。

- 一、林業者教養文化増進事業・近隣町村ゲートボール大会
開催日 7月8日
参加者 16チーム89名
- ・智頭線開通記念駅名対抗ゲートボール大会
開催日 12月3日
参加者 14チーム73名

- 二、森林・林業緑資源の啓蒙普及事業
・夏休み子ども体験学習
開催日 8月8～10日
参加者 小学生49名

また、公社の最も重要な事業である西栗倉村観光施設等の運営受託に関する事業では、観光事業を取り巻く環境が依然厳しい中ではあります、職員のスリム化を推進するとともに、施設間の応援態勢を構築しながら人件費の削減を進めました。

旬の里では”安全・安心”をテーマとした地産地消の商品や食事メ

ニューの開発を推進し、あわくらんどでは売場の見直しやレストランメニューの細やかな見直しを実施しています。

あわくら荘では営業活動とともに西栗倉の自然を生かしたツアー商品を企画実施するとともに、黄金泉でも年間会員制度の実施など利用客の拡大に努力しています。緩やかながら経営状況は改善に向かつており、平成18年度もより一層努力をいたします。

最後に指定管理事業については、大茅スキー場は今シーズンは12月上旬より積雪があり、シーズン前半は好調でしたが、2月は週末が天候不順であったため、結果として営業収入は前年比95%となりました。

また、農村型リゾート天徳寺についても、昨年9月から決算まで茅葺き替え工事により営業を休止いたしましたので、大幅な減収となりましたが、収益を確保し施設改修等を実施することができました。

平成18年度も職員一同、より一層安定した経営を目指して努力いたしますので、ご愛顧の程よろしくお願いいたします。

なお、公社会計の決算及び指定管理事業の決算は次のとおりです。

財団法人西栗倉村森の村振興公社収支計算書

自 平成17年 4月 1日
 至 平成18年 3月31日

I 収入支出の部

1 収入の部		(単位：円)
1 財産収入	92,696	
2 補助金収入	9,662,000	
3 給与負担金収入	174,088,829	
4 経理負担金収入	12,696,500	
5 雑収入	451,000	
当期収入合計		196,991,025

2 支 出 の 部	
1	事務所管理費 22,247,857
	(うち職員給料) (7,331,700)
	(うち職員手当) (2,889,950)
	(うち職員福利厚生費) (1,969,401)
2	営業費 1,451,842
3	森林林業緑資源啓蒙普及事業費 597,199
4	林業者教養文化増進事業費 164,932
5	施設管理事業費 174,088,829
	(うち職員給料) (95,686,220)
	(うち職員手当) (32,606,020)
	(うち職員福利厚生費) (24,066,599)
	(うち賃金) (21,729,990)
当期支出合計 198,550,659	

経常損失	1,559,634
税引前当期損失	1,559,634
当期損	1,559,634
前期繰越利益	9,502,187
当期末処分利益	7,942,553

※参考 公社職員数（平成18年 3月31日現在）

施設名	正職員数	パート職員数	各施設合計
国民宿舎あわくら荘	13	2	15
あわくらんど	12	7	19
あわくら旬の里	12	4	16
黄金泉	3	0	3
公社事務局	3	0	3
施設合計	43	13	56

財団法人西栗倉村森の村振興公社観光事業収支計算書

自 平成17年 4月 1日
 至 平成18年 3月31日

I 収入支出の部

1 収入の部		(単位：円)
1 預金利子収入	25	
2 天徳寺事業収入	724,990	
3 大茅スキー場事業収入	16,906,664	
当期収入合計		17,631,679

2 支 出 の 部	
1 天徳寺事業支出	589,587
2 大茅スキー場事業支出	17,077,304
当 期 支 出 合 計	17,666,891

経常損失	35,212
税引前当期損失	35,212
法人税、住民税及び事業税	71,000
当期損	106,212
前期繰越利益	1,408,698
当期末処分利益	1,302,486

